

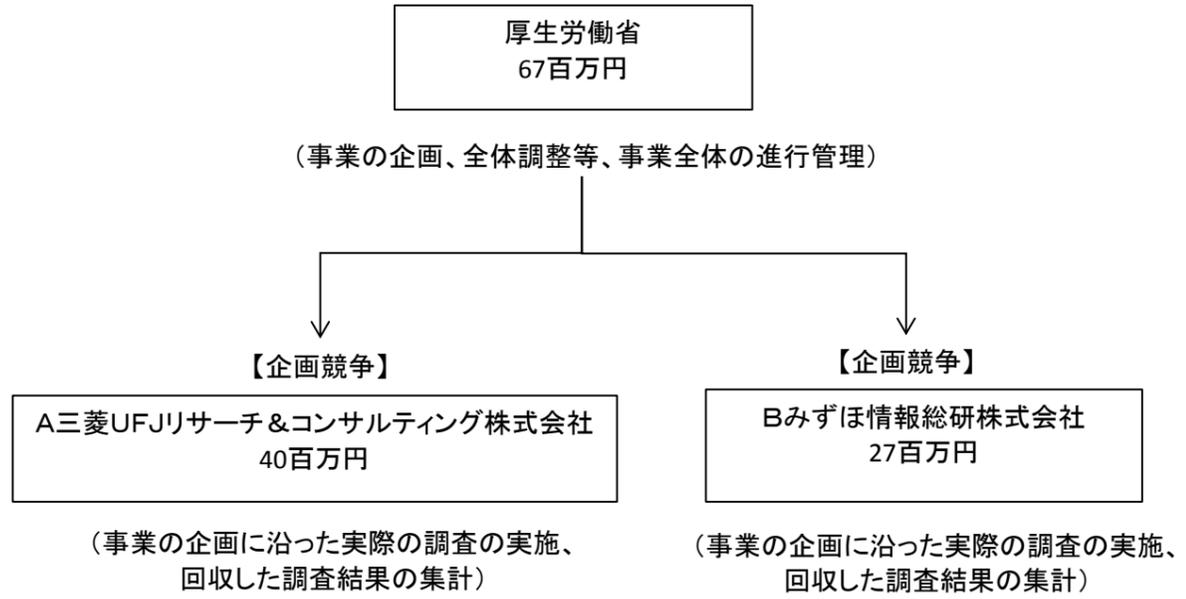
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	診療報酬体系見直し後の評価等に係る調査に必要な経費 (診療報酬の見直しに係る意見募集に必要な経費、見直し後の診療報酬体系についての評価に係る調査及び先進医療に関する調査研究)		<b>担当部局庁</b>	保険局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成18年度		<b>担当課室</b>	医療課		鈴木 康裕		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	社会保険医療協議会法第8条第二項		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	前回の診療報酬改定において改定を行った事項についての結果検証の実施、関係団体から提出される医療技術や先進医療について、新規医療技術の評価及び既存医療技術の再評価の実施、改定の骨子に対するパブリックコメントの実施により、診療報酬改定を行う上での資料を得て、診療報酬改定の議論に資することを目的としている。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	1 5~6項目の調査項目について調査票により調査を実施し、提出された調査票の集計、分析を行い、その分析結果について内容の検証、評価を行う、 2 関係学会等から提出された医療技術の評価・再評価希望書について評価を行う、 3 厚生労働省ホームページを利用してパブリックコメントを実施し、広く国民の意見を募集する、 という事業を実施する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	80	72	81	80	68	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	80	72	81	80	68	
		執行額	73	63	67			
	執行率 (%)	92.34%	87.50%	83.66%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	診療報酬改定の結果の検証を実施し、検証結果を次回診療報酬改定の基礎データとするための事業であり、定量的な評価は困難である。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	中医協検証部会が策定した調査項目11項目のうち5項目について、調査を実施し、結果を作成した。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	( - )	( - )
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	意見募集に必要な経費	1	0	隔年実施であり24年度は実施しないため				
	調査分析経費	55	55					
	後発医薬品調査費	13	13	隔年実施であり24年度は実施しないため				
	先進医療に関する調査研究費	11	0					
	計	80	68					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>執行額については、調査分析経費及び後発医薬品調査費については、企画競争による結果であり、業務の性質上、特段の問題はないと判断。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>事業の必要性が認められるため、引き続き事業内容及び予算規模を維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事業の企画に沿った実際の調査の実施、回収した調査結果の集計	27			
物件費	会議開催経費、印刷費、郵送料等	6			
その他	消費税等	5			
外部委託	株式会社C データ入力	2			
計		40	計		0
B.みずほ情報総研株式会社			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事業の企画に沿った実際の調査の実施、回収した調査結果の集計	14			
物件費	会議開催経費、印刷費、郵送料等	8			
その他	消費税等	3			
外部委託	株式会社D データ入力	2			
計		27	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサル	事業の企画に沿った実際の調査の実施、回収した調査結果の集計	40	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.みずほ情報総研株式会社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研株式会社	事業の企画に沿った実際の調査の実施、回収した調査結果の集計	27	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					